

石峰&抱月のふるさと『地域まるごと博物館』

波佐ネット通信

No. 102 2018.4.27

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会
波佐文化協会
能海寛研究会
ほたる湯館G・ゴルフ場

能海寛生誕 150 年記念企画展

『能海寛の目指した世界平和』

戦争の無い世界平和を願い「宗教学」の完成を目指した。明治 21 年 10 月から「新仏教徒」運動を興し、『NEW BUDDHIST』の創刊で英文による仏教発信とサンスクリット経典を入手して世界 5 億の仏教徒に統一した英訳経典の訳出を生涯の仕事とした。



能海 寛師

浜田市金城歴史民俗資料館

会 期 平成 30 年 5 月 1 日(火)～平成 31 年 3 月 31 日(日)

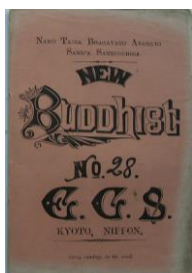
開館日 土・日曜日 am9:00—pm5:00

入館料 2 館共通(大人 300 円、中学生 100 円、小学生 60 円)

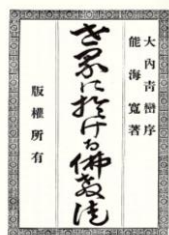
団体割引 25 名以上(閉館日の見学を希望される団体は、事前予約願います。 ☎090-4697-2818

能海 寛 略歴

能海寛 法名法流。 石峰と号す。明治元年 5 月 18 日島根県浜田市金城町長田（当時は東谷村）浄蓮寺に生まれる。12 歳で得度し、慶応義塾と哲学館に学ぶ。恩師南條文雄師の意思を継ぎチベット探検の論文『世界に於ける佛教徒』を発表すると共に語学の研究と山岳登山による体力の練磨をなす。郷里にあつては地方史を編纂して和歌を詠み、益田沖の高島にて寺小屋を開設する。哲学者、探検家、宗教家として釈迦直伝の大蔵経の経典を求め英訳経典世に出す目的で当時鎖国中であったチベットへ求道のため身を挺し仏教巡礼探検を实践した功績は偉大で有言実行と用意周到さは後世に幾多の教訓を残す。その苦難の 34 年の生涯に「般若心経」西藏文直訳（梵・藏・漢・英）など四巻が著書として永遠に伝う。



『NEW BUDDHIST』



『世界に於ける佛教徒』



『滅十罪経』経典とチャンバラ神

